

# 若手研究者の会発足

～ 若手が抱える諸問題について～

この度、日本解剖学会において「若手研究者の会」を発足させることとなりました。本会は、若手研究者同士の交流・情報交換を通して、解剖学の持続的な発展に寄与することを目的としています。本ランチョン企画では、今後の「若手研究者の会」設立に向けて、運営委員会の発足と主な活動内容の説明・議論を行います。

## 開催概要

日程: 2019年3月29日(金)

時間: 12:00～13:00

会場: D会場

(中会議室201A・B)

座長: 近藤誠 先生

(大阪大学)

## パネリスト

岡部繁男 先生

(現 日本解剖学会理事長, 東京大学)

藤本豊士 先生

(前 日本解剖学会理事長, 名古屋大学)

## 若手パネリスト

山岸覚 先生 (浜松医科大学)

江角重行 先生 (熊本大学)

近藤誠 先生 (大阪大学)

## 本日の内容

### (1) 冒頭挨拶

### (2) 運営方針の説明

- ・現組織(設立準備委員会)の概要とメンバーについて
- ・運営委員・委員長等の選任
- ・運営参加希望者は全員、運営委員となり、希望に応じて交流シンポジウム班・教育研究キャリア班のどちらかに所属していただきます(両班への所属も可)。

### (3) 交流シンポジウム班の活動方針

- ・学会期間中や期間外の討論機会、勉強会の企画・実施

### (4) 教育研究キャリア班の活動方針

- ・教育研究キャリアの情報の共有などの企画・実施

### (5) アンケートおよび会場から意見についての討論

短時間ですが会場からも議論に加わって頂き有意義な時間に出来ればと思います。  
アンケートをウェブ上で行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

### (6) 終会挨拶

日本解剖学会 「若手研究者の会」設立準備委員会

近藤誠 (委員長、大阪大)

小川典子 (島根大)

鍋加浩明 (愛媛大)

藤田幸 (大阪大)

江角重行 (副委員長、熊本大)

甲賀大輔 (旭川医大)

日置寛之 (順天堂大)

山崎美和子 (北海道大)

山岸覚 (副委員長、浜松医大)

仲田浩規 (金沢大)

## (1)冒頭挨拶 (パネリスト紹介)

### <若手研究者の会に期待すること、若手へのメッセージ>

岡部繁男先生 (現 日本解剖学会理事長 東京大学)

解剖学会は 2000 人強の会員がおり、対象とする学問分野も明確な学会な事もあり、これまでは比較的安定した運営がなされてきました。一方で日本の学術の環境、更に社会自体の在り方は今後数十年でかなり大きく変化することが予想されます。現在の若手研究者がシニアと呼ばれる立場になった時に、解剖学者であることの意味を次の世代にポジティブに語るためには長期的な展望と戦略が必要です。若手研究者の会が立ち上がり、学会の将来や若手のキャリアパスについて自由闊達な議論が行われる事を期待します。

藤本豊士先生 (前 日本解剖学会理事長 名古屋大学)

私はベテランを通り越してシニアの位置づけと思いますが、学問や研究を面白いと思う気持ちに関しては若手研究者に負けていない自信があります。現実にはいろんな問題があって話は簡単ではないですが、どうすれば純粋に研究を楽しむことができる環境を創り出せるか、知恵を出し合って、ポジティブな気持ちを持てる集まりになればいいなと思っています。

### <若手研究者の会の立ち上げについてのご挨拶>

委員長: 近藤 誠先生 (大阪大学)

この度、日本解剖学会において「若手研究者の会」を発足させることとなりました。本会は、若手会員同士の交流や情報交換を通して、解剖学会の持続的な発展に寄与することを目的としています。本ランチョン企画では、若手会員の抱える諸問題を抽出するとともに、今後の「若手研究者の会」の運営と活動内容の説明・議論を行いたいと思います。

### <交流シンポジウム班 班長のご挨拶>

班長: 山岸 覚先生 (浜松医科大学)

若手研究者の会が発足することになり、とても楽しみにしています。研究室間・大学間の垣根を超えて風通しを良くし、「気軽に」情報交換・ディスカッションできる場を設けていきたいと思っています。教育・実習環境に関することや、初歩的な実験・最新の研究などなど、誰かに訊きたいことって意外と多いと思います。人手不足、雑用が多い、研究者減少問題、研究費について etc、何でも結構ですので、解剖学研究室に所属する自称若手研究者の皆様が抱える問題の解決に少しでも繋がればと思います。今はまだ白紙状態ですので、皆様のご意見をお聞かせいただけたらと思います。

### <教育研究キャリア班 班長のご挨拶>

班長: 江角重行先生(熊本大学)

私は理学博士ですが、医学教育やマクロ解剖学に携わっております。解剖学教育をどのように教えたら良いか？私でも physician scientist の育成に貢献できるのでしょうか？また、キャリアをどのように進めるかなどの悩みを持ちながら、日々教育や研究に向かっております。本会では先生方のご意見をいただきながら若手の交流の場を作り、解剖学会を活性化できたらと思っております。

## (2)運営方法について

### ・組織の概要とメンバーについて

- 1) 交流シンポジウム班: ネットワーク構築、学会期間中や期間外の討論機会、勉強会の企画、実施、広報活動など (山岸、仲田、藤田、日置、山崎、近藤)
- 2) 教育研究キャリア班: ネットワーク構築、教育研究キャリアなどの情報の共有などの企画、実施、広報活動など (江角、小川、甲賀、鍋加、近藤)

- ・運営委員・委員長等の選任

運営参加希望者は全員、運営委員となり、希望に応じて交流シンポジウム班・教育研究キャリア班のどちらかに所属していただく（両班への所属も可）。

### (3) 今後の交流シンポジウム班の活動について

- ・学会期間中や期間外の討論機会、勉強会の企画・実施

#### <交流シンポジウム班 活動内容の提案>

- \*学会でのシニア・若手交流セッション（アンケートより）
- \*学会での若手企画によるシンポジウム（アンケートより）
- \*若手の会の夏 or 冬のセミナーなどの開催（アンケートより）
- \*懇親会の開催

### (4) 今後の教育研究キャリア班の活動について

- ・教育研究キャリアの情報の共有などの企画・実施

#### <教育研究キャリア班 活動内容の提案>

- \*情報共有、交流のためのメーリングリスト作製 または掲示板立ち上げ
- \*来年の解剖学会で、ランチョン企画/シンポジウムの枠を使わせていただいて、キャリアプラストーク（研究内容+教育実習経験+目指すポジション等を含めた発表）の提案。この企画でスタッフを探している先生方に、アピールする場となることを目指す。
- \*若手が研究や教育について意見交換できる懇親会やサロンを会期中に企画したい

### (5) アンケートおよび会場から意見についての討論

#### アンケートの結果まとめ（一部抜粋）

##### 1) 交流シンポジウム関連

#### <学会運営・シンポジウム企画>

- 学会でのシニア・若手交流セッション（気軽に参加出来るもの）を定期開催してほしい。
- 学会での若手企画によるシンポジウムを実施できないか？
- 若手の会の夏 or 冬のセミナーなどを開催してはどうか？
- 若手の意見を集約し、理事会にまで提案できるシステムの構築はできないか？

#### <大学間の交流（見学）・物品の貸借・共同利用>

- 実習見学・教員交換交流はできないか？
- 若手間の共同研究を促進するにはどうしたら良いか
- 実習指針やコツや試験問題作成ノウハウの共有ができないか？
- 新たな実験手法の紹介、論文抄読会、研究面での情報共有などができないか？

##### 2) 教育研究キャリア関連

#### <キャリア・人材確保・人材活用・就職>

- キャリア形成過程を紹介して共有して欲しい
- 研究者のキャリアアップにおける現状や課題を相談する機会が欲しい
- 臨床研修必修化や専門医制度変更等による医学部出身者に関する課題
- 就職や人材確保、人材活用につながるシンポジウムや企画をして欲しい。

## <教育>

解剖学教育方法や実習教育方法の共有化はできるか？

解剖学実習のコマ数の減少や解剖学講座の教員数の削減に対する対策は？

解剖学実習カリキュラムの時間範囲内に収まる効率の良い解剖学実習の方法が知りたい。

組織学実習における標本画像の全国共有化ができないか？

non-MDの方が教員をされている場合、どのように学習し教えたら良いか知りたい。

## <研究>

ネットワークを介した研究費獲得法、最先端の研究、新たな実験手法の紹介は可能か？

失われつつある技術を若い研究者に継承していく試みができないか？

### 3) 来年度の若手研究者の会総会と懇親会の日程について

多くの先生方に集まっていたいただけるこの場で、皆さまから意見をいただきながら、来年度の若手の会の総会と懇親会の予定を決めたいと思います。日程等と考慮して、下記の2案を提案します。

(下記の案は、会場班長の江角のたたき台案です。責任は江角にあります)

#### (日程案1) 解剖学会若手研究者の会ワークショップ 2020

日程: 解剖学会総会 前日 13時~18時 (懇親会 19時~)

\*前日に行われる研究集会・懇話会の一つとして行なう

\*ワークショップ、討論会等と総会を行なう。

#### (日程案2) 若手企画シンポジウム・若手研究者の会総会 (学会内開催案)

日程: 解剖学会総会 第1日目 (若手企画シンポジウムとして午前午後で1枠ずつ)

ポスター展示時間 17:00-18:00 に若手の会総会を行なう。(懇親会 19時~)

\*午前午後が難しいようであれば、午後の枠だけでもお願いしたい。

### 4) 夏の学校の開催について (開催する場合)

夏の学校や他の若手の会とのジョイント企画等の開催については、新しく若手の会運営委員になった先生方と話し合っって企画や日程を選考する予定です。

日程候補1: 2019年8月17日(土)~18日(日)

日程候補2: 2019年8月24日(土)~25日(日)

日程候補3: 2019年8月31日(土)~9月1日(日)

### 5) その他

解剖学雑誌やその他一般紙へのアウトリーチ活動 (生化学若手の会キューベット委員会的なもの)

男女、役職等問わずいろいろな立場の方が会に入って欲しい。

若手が多く集まり、研究などを紹介しながら飲める懇親会が良いのでは？

YouTube や SNS を利用して、これまで解剖学に貢献してこられた先生方の解剖学教育や研究の思いを伝えられないか？解剖学の面白さの情報を発信できないか？(公式 SNS など解剖学会員の論文や研究紹介はどうか)

解剖学会は、日本語で学会を行っているため、より深いディスカッションを行なうことができる。これはアピールポイントだと思う。(英語化した学会では一部の英語が上手な方を中心にした質疑になるため、若手が入りづらい雰囲気になっている)